

## I-5 オガサワラグワの収集、蚕試、1987年

蚕糸試験場 栽培部 桑育種第1研究室 原 島 典 雄  
桑育種法研究室 小 林 昭 三

### はじめに

野桑の一種であるオガサワラグワは東京都小笠原村に分布し、葉が厚く、再発芽性がすぐれた有用な遺伝資源と考えられる。しかし、近年急速な地域開発により減少傾向にあるので、早急に収集し、保存する必要がある。そのため蚕糸試験場栽培部が担当し、収集することになった。

### 1. 探索地域と時期の選定

小笠原村は東京都に所属するが、都心から海上南1000km離れ父島、母島など大小20余りの島から成っていて北緯26°~30°内に位置し、沖縄県とほぼ同じ緯度にあつて亜熱帯に属する。年平均気温が22℃程度、降水量は年間1500mm前後あり、草木は常に緑におおわれて、桑の発育は冬期においても停止することなく一時に落葉しないといわれている。しかし、桑葉の形態的特徴は夏季の生育旺盛な時期に調べるのが最適であることから、収集可能な8月中旬を選定した。収集は別紙探索・収集日定表のとおり8月17日に出発し、8月19日から21日かけて行った。

### 2. 実施の概要

オガサワラグワの生存個体数は、父島に少なく、母島に多いといわれていることから、東京都小笠原支庁産業課及び土木課自然公園係の協力を得て、母島を中心に枝及び新梢を収集した。母島の収集地点は、島の北東部の石門山針ノ岩附近の喬木林地、島のほぼ中央西側の桑ノ木山中腹の喬木林地及び島の南部中央の評議平にある亜熱帯農業センター（営農研修所）敷地内の3地点で、5個体のオガサワラグワを観察調査した。いずれの桑も樹高15m前後、幹周1.2m~3.2mの大木で、樹幹部からの小枝や新梢の発生が少なく上部に展開する支幹に枯れ枝が多く認められた。そのため、小枝及び新梢の収集は困難を極めたが、亜熱帯農業センターほか2カ所で生育中の3個体から収集した。また、父島の収集地点は、島の北西に位置する三日月山々麓、北端の宮ノ浜及び南部のほぼ中央に位置する北袋沢の3地点で、3個体の観察調査及び収集を試みた。母島と同様にいずれも大木で収集は困難であったが、北袋沢で1個体の新梢を収集した。以上のように、母島から3個体、父島から1個体で合計4個体を収集した。

収集した枝及び新梢は2つに分けて、1つは現地持参した桑実生台木に1個体あたり数本づつ接木し、もう一方は持ち帰って実生台木に接木した。その結果、1個体あたり1~12本の活着を見、温室内で生育させた。

### 3. 収集材料の今後の処置計画

収集したオガサワラグワは来年度以降担当研究室において増殖のうえ保存・評価を行い、ジーンバンク事業に沿って材料及び情報の受渡しを行う予定である。

### 4. 所感

小笠原村は国立公園に指定され、東京都庁小笠原支庁土木課自然公園係によって、自然環境保全法や自然公園法により一部の地域を除いて保護されているものの、父島、母島のみには自生するオガサワラグワはいずれも老木で枯れ枝が多く見られ、台風などによる倒壊が懸念される。他方、収集された桑は葉の厚さ、大きさなど形態的にかなり差異がみられ、オガサワラグワの中でも特性の個体間差が大きいようである。したがって、今回収集出来なかった桑を含め、オガサワラグワの探索・収集を今後も続ける必要があると感じられた。

### 研究協力

東京都小笠原支庁産業課及び土木課自然公園係。

表1. 探索・収集日程表（東京都小笠原村，1987. 8. 17～22）

| 月日（曜）   | 旅 程                     | 行動内容   |
|---------|-------------------------|--------|
| 8.17（月） | 竹芝棧橋→父島（二見港）            | 船      |
| 18（火）   | 父島（二見港）乗換→母島（沖港）        | 船      |
| 19（水）   | 石門山→桑ノ木山                | 収集     |
| 20（木）   | 営農研修センター→母島（沖港）→父島（二見港） | 収集，船移動 |
| 21（金）   | 三日月山→宮ノ浜→北袋沢→父島（二見港）    | 収集，船   |
| 22（土）   | 父島（二見港）→竹芝棧橋            | 船      |

表2. 収集材料現地記録表（東京都小笠原村，母島，父島1987）

| 収集番号  | 作物名 | 種 名                        | 現 地 名   | 収集日  | 収集地 | 特記事項 | 備 考    |
|-------|-----|----------------------------|---------|------|-----|------|--------|
| No. 1 | 桑   | <i>M. bominensis</i> Koidz | オガサワラグワ | 8.20 | 母島  | なし   | 1年枝・新梢 |
| 〃 4   | 〃   | 〃                          | 〃       | 〃    | 〃   | 〃    | 〃      |
| 〃 5   | 〃   | 〃                          | 〃       | 〃    | 〃   | 〃    | 新梢     |
| 〃 8   | 〃   | 〃                          | 〃       | 21   | 父島  | 〃    | 〃      |

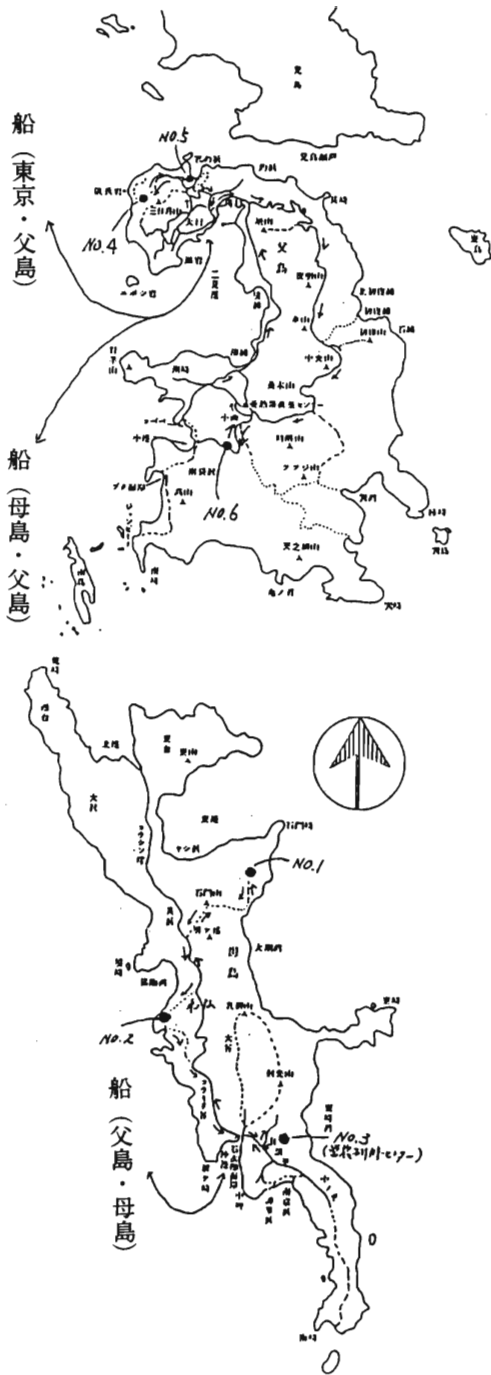


図1. 小笠原村, 母島, 父島における収集経路図